



岡山さんぽメールマガジン 第 127 号 8 月 1 日 (水)



1. 相談員便り「職場のメンタルヘルス」(中島誠相談員)

2. 研修会のご案内

◆平成 30 年度研修会 (8 月、9 月)

◆産業医研修会

3. 編集後記

---

1. 相談員便り (中島誠相談員)

---

「職場のメンタルヘルス」

岡山赤十字病院

中島誠

職場が社員の能力低下に気付いた時、何をしようとするでしょうか。能力低下は急に起こったものではなく、おそらくその傾向は以前よりあったものであり、最近目立って来たというものです。多くの場合、上司が少しかばうことにより何とか仕事が出来ていたのですが、上司が交代して、新たな上司に正義感が強いとか、かばいきれないとかという思いがあって、その上司が何らかの行動を始めることにより事態は動き始めます。二つの事例を紹介します。

A さんは 50 代男性です。高卒後に B 社に入社、以来、ずっと支店の営業担当をしていました。成績は決して優秀ではありませんでしたが、そこそこの業績を上げ、余り目立つ存在ではありませんでした。ある時、入社したての社員 C さんが配属になり、A さんの部下として仕事を始めました。A さんは優しい人ですが、仕事のノウハウを整理して伝えることは苦手で、几帳面な C さんの質問に的確な答えが出来ず、C さんは次第に苛立つようになり、そのことを転勤してきたばかりの副支店長 D さんに報告しました。D さんは A さんを営業職から事務部門に配置転換をして自らの部下として様子を見ることにしました。A さんにとって事務職は初めてのことで、元々器用な方ではないため、慣れない仕事に戸惑うことも多く、D さんからいつも叱責され、やがて B 社の産業医 E 医師に相談となりました。E 医師は判断を保留し A さんは当科に紹介となりました。診察の結果、A さんに関して、記憶力はやや低下していましたが、それ以上の認知能力低下はなく、元々、注意・集中力が高くなく、ついうっかりすることも多く、順序立てて行動できないなどの仕事をする上での問題点のあることが分かりました。そのことを E 医師に報告したところ、おそらく E 医師から D さんにその結果が伝わり、D さんから A さんに対して診断書を貰って休むように言ったり、A さんに細かい事務作業をさせてミスを誘いこれを理由に休職させようとしたりと D さんの A さんいじめと受け取れるようなことが起こるようになりました。ちなみに D さんは、普段から、これまで〇人辞めさせたなどと豪語する人物だそうです。

Fさんは50代女性です。大学卒業後ある資格を取ってG社に入社し、支店でその資格を生かしながら仕事をしていました。若干、臨機応変な対応が苦手であったことから、やや他の人より劣るという評価をされていたようです。30代後半に病気で数ヶ月仕事を休みましたが、その後無事復帰してそれまで通りの仕事はできていたとのこと。ある年に支店長が交代となり、新たに支店長Hさんが赴任してきました。いつ頃からか、顧客よりFさんについてのクレームが時々入るようになり、それらはいつもFさんの単純なミスによるものと判明していて、Hさんは何度もFさんに注意をしましたが、あまり改善されませんでした。Hさんは困り果て、病気ではないかと考え、Fさんに勧めて当科受診となりました。診察の結果、Fさんは程度の差はあるもののAさんとほぼ同様の状態であることが判りました。その結果をFさんの了解を得てHさんに報告したところ、Hさんは支店内にFさんの仕事ができる場所はないのでしばらく休んで欲しいとFさんに告げました。Fさんは強く反論できる人ではないので、その提案を受け入れました。今から思えば、Hさんはこちらの診断を待っていたかのような行動でした。

どこの会社でも働く社員には就業規則がありますが、その会社で望まれる仕事のレベルは就業規則で文章化できず、そのレベルを下回ってしまって会社が困ってしまうケースは時々あります。会社としては、一旦採用した以上、大きな理由もなく退職させることも出来ず、困ってしまい、とりあえず病院に行って来いということになるわけです。

産業医は会社と社員の間でほぼ中立の立場ですが、臨床医は患者さんに寄り沿う立場であると思っています。臨床医としてどのように対応すべきか、悩むところです。



#### 【中島相談員の研修会】

8/31(金)15:00～16:30

『裁判事例を読み解く(2)』【実地 1.5 単位】

11/30(金)15:00～16:30

『裁判事例を読み解く(3)』【実地 1.5 単位】

申込はこちら <http://www.okayamas.johas.go.jp/01-ke.html>

---

## 2. 研修会のご案内

---

«平成 30 年度研修会 (8 月、9 月) »

会場：ピュアリティまきび（岡山市北区下石井 2-6-41）

※一部、会場が異なる研修会がございます。ご注意ください。

8/2(木)14:00～16:00【満席】

『カウンセリング 1』

●津山●8/23(木)14:00～15:30

※こちらの研修会場は津山圏域雇用労働センター

(岡山県津山市山下 92-1) です

『高齢者が元気な会社はいい会社～高齢者のメンタルヘルスを考える～』

8/28(火)14:00～15:30

『やる気の出る職場～ワークエンゲージメントの考え方と事例紹介～』

8/30(木)14:00～16:30【満席】

『近年の労働衛生行政の課題と、今後のストレスチェックの活かし方』

【更新 1 単位、専門 1.5 単位】

8/31(金)15:00～16:30

『裁判事例を読み解く(2)』【実地 1.5 単位】

9/6(木)14:00～16:00【満席】

『カウンセリング 2』

9/7(金)14:00～15:30

『管理監督者のためのメンタルヘルス対策』

9/12(水)15:00～16:30

『「過重労働」による健康障害防止と労働安全衛生法』

【専門 1.5 単位】

9/13(木)14:00～16:00

『大人の「発達障害」の基本的な理解と対応』

9/20(木)14:30～16:00【満席】

『初めてでもわかる一般健康診断の基礎知識（新任向け）』

★新しく計画された研修会★

●岡山労災病院●9/20(木)14:00～16:00

※こちらの研修会場はアスベスト疾患研究・研修センター

(岡山県岡山市南区築港緑町 1-10-25) です

『石綿関連疾患診断技術研修』【実地 2 単位】

◆詳細、申込はこちら

<http://www.okayamas.johas.go.jp/01-ke.html>

---

«産業医研修会»

産業保健に関心のある方なら、どなたでもご参加いただけます。

産業医の方は、生涯研修の単位を取得できます。

主催：NPO法人岡山健康医学研究会

受講料等の詳細につきましては下記のホームページでご確認ください。 <http://d.hatena.ne.jp/okayama-eisei/>

●岡山労災病院（岡山市南区築港緑町 1-10-25）

（未定）

●岡山大学医学部（岡山市北区鹿田町 2 丁目 5-1）

・8月19日（日）12：30～17：50

『2018 日本医師会認定産業医 生涯研修会』等

◆詳細、申込はこちら

<http://d.hatena.ne.jp/okayama-eisei/>

◆メールでの問い合わせ：npo.ohma@gmail.com

---

### 3. 編集後記

---

7月4日（水）に平成30年度岡山地方産業安全衛生大会が岡山コンベンションセンター・ママカリフォーラムにおいて開催されました。開会式に主催者として副所長が登壇し、岡山労働局健康安全課長・JFEスチール(株)西日本製鉄所 乍氏の講演、西坂労働安全コンサルタント事務所 西坂代表による「創り育てる文化～安全行動が自然にできる職場を目指す～」と題する特別公演が行われました。岡山産業保健総合支援センターは別室を借りて「産業保健相談コーナー」を開設しました。副所長・労働衛生専門職・産業保健専門職・産業保健相談員が、メンタルヘルス対策、治療と仕事の両立支援、産業保健関係助成金などの相談に対応しました。皆様の職場で開催するキャンペーンやイベントでセンターのPRをさせていただければありがたいです。どうぞよろしくお願いいたします。

---

次回の第128号は9月3日（月）に配信予定です。